

# 企業概要

## 株式会社アポロジャパン

### <事業内容>

- 3眼ステレオカメラ 自動運転
- AI画像認識SDL事業
- スクリーンコード事業

### 企業概要

企業名：株式会社アポロジャパン  
 設立年月日：2005年3月29日  
 所在地：808-0135  
 福岡県北九州市若松区ひびきの1-8  
 北九州学術研究都市事業化支援センター305号  
 TEL 093-647-0081  
 FAX 093-647-0082  
 URL <http://www.sdl-apollo.com>  
 資本金：4,729万5千円  
 年商：2,500万円  
 従業員：3名  
 代表者：代表取締役 岸上郁子  
 主要取引先：天津アポロ有限公司  
 自動車関連の実績 有(製品画像認識関連) 過去に実績有(製品：無)  
 交通アクセス：JR折尾駅  
 折尾西口バス停市営バス→学研都市ひびきの  
 会社組織：中国に現地法人子会社 天津阿波羅電子有限公司  
 があり、主に開発を担う。  
 南開大学の大学院生など豊富な人材がそろっている。



北九州学術研究都市 事業化支援センター3F

### 経営理念

世界を変える特許技術  
時流を見据えて、進化し続け、人の生活によりそう技術開発をめざします。

### 事業目標

自動運転に不可欠な機械決断を可能にする、まったく新しいAI技術SDL (Self-Discipline Learning) の提案。  
 ・AIアルゴリズムは基礎技術であるので、いろいろな応用が考えられる。取り組みの一つは自動運転であるが、ロボット、建物劣化診断、農業での自動運転、電気バスへの展開が考えられる。  
 ・九州でSDLのコンソーシアムを作り、ひとつひとつを実現していき5年後の2025年にはIPOを目指す。

### 改善目標

ディープラーニングに比べ知名度が低いので、展示会やセミナーでのプレゼンを通じ、できるだけ多くの人に知ってもらうことから始める。  
 大手企業とのマッチングや大学との産学連携を主体に自社だけでなく周りを巻き込んでの事業展開を実現する。

### 主要製品・サービス

#### <SDL応用分野① 自動車分野>

##### ■3眼ステレオカメラ(画像認識)



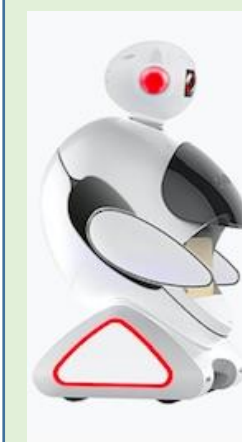
項目内容	仕様内容
画像センサー	5MP*2+8MP 50WY型
カメラ基盤長	120mm
視覚検出画素数	512*384
検出方式	独自のSDL自律機械学習
3D画像認識角度	30~90度
3D画像認識距離	5.00m~5.150m
3D空間の学習	独自の10x自律機械学習
3D画像認識速度	独自の10x自律機械学習
3D画像認識精度	±6mm/frame
3D画像認識内容	位置、大きさ、距離、速度など
3D画像認識率	99.9%
外形	170mm(W)*140mm(D)*45mm(H)
環境温度	-10℃~70℃

##### 3眼ステレオカメラの競争力

- 1、業界一の150メートルのステレオ画像認識の距離を達成。これにより、レーダーライダーの代替となる。
- 2、障害物の距離、大きさ、位置を把握できるので、減速、停止、加速など自動運転の意思決定に必要な情報を得ることができる。
- 3、小規模のハードウェアでの実装が可能であるため、コストが大幅に削減できる。

#### <SDL応用分野② ロボット分野>

##### ■・・・ロボット



SDLアルゴリズムを使った、画像認識カメラのカスタマイズ及び、機械決断モデルを用いて、病院に特化した配膳ロボットなどへの応用も考えられる。  
 ロボット開発の実績ある、大学や企業を求む！  
 協業することで、開発速度を一気に加速させる。

### コア技術

#### <コア技術① 新世代人工知能SDL>

SDLの説明  
 自社特許技術に基づく機械決断モデルを用いたAIアルゴリズム

<https://www.sdl-apollo.com>

自動運転を例にとり説明。そのほか、倉庫内の配送や建物劣化の検査など応用範囲は広い。

#### <コア技術② スクリーンコード>

印刷に特化した特許技術。見えないコード「スクリーンコード」  
 見えない特質を生かし、セキュリティとトレースアビリティ用途に優位性がある。

<https://www.apollo-japan.ne.jp>

#### <スクリーンコード応用分野>

##### ■Speakun

スクリーンコードの専用読取機器。現在大手こども英会話教室での採用実績のほか、文科省での認定も受け視覚障がい者のこどもたちなどに国語読み上げ教材のひとつとして採用されている。  
 また失語症や自閉症のかたへのツールとしても利用されている。

##### ■IoTクラウドサービス

スクリーンコードをスマホで読み取るアプリを開発。  
 ScVoiceは音声スマホの中へ一括ダウンロードすることによりネットの環境がなくても、教材にスマホをかざすと音声を聞くことができる画期的なシステムである。

すでに高校の英語教材出版社が採用している。  
 特許出願中2017-186872 印刷物連携記録システムおよびこれに用いる記録印刷物 <https://scvoice-apollo.com>

##### ■セキュリティ

スクリーンコードの見えない特質を生かして真贋判定や商品のトレースアビリティに利用されている。特に中国ではミシュランのタイヤにバリエーションコードを印刷し、管理をしている。  
 今後、さらに小さなスペースに印刷できる体系のコードを開発しているため、車のICなど今まで小さくてコードが印刷できなかったものにも印刷が可能になる。  
 特許取得済 特許第5685677

特徴・強み(セールスポイント)

独自AI技術SDLモデルによるまったく新しい画像認識特許をつかい、機械決断を可能にした